



金太郎生誕の地 おやま

平成 29年度 小山町 部長マニフェスト

平成 29 年 4 月

小 山 町

目 次

◇ 部長マニフェストの概要	1
◇ 部長マニフェスト	
● 企画総務部長	2
● 住民福祉部長	3
● 経済建設部長	4
● 経済建設部長代理	5
● 教育次長	6
● 危機管理監	7

部長マニフェストの概要

1 作成の目的

- (1) 各部の基本方針や重点的に取り組む施策及びその目標を明らかにし、町民に開かれた行政運営を目指します。
- (2) 組織で施策の目標を共有化することにより、目標の達成に向けて職員が一体となって施策の推進に取り組めます。
- (3) 毎年、施策の目標の達成状況を評価し、翌年度のマニフェストに反映することにより、施策のPDCAを図ります。

2 作成者

企画総務部長、住民福祉部長、経済建設部長、経済建設部長代理、教育次長、危機管理監

3 記載項目

項目	内容
部の紹介	部の所属課及び職員数を記載しています。
部の基本方針	部が抱える重要課題等について、その解決に向けた基本的な考え方を記載しています。
重点施策	当該年度に重点的に取り組む施策について、具体的取組及び目標を記載しています。

4 評価（翌年度）

翌年度当初にマニフェストへの取組及び目標達成状況について評価を行います。

5 公表

- (1) マニフェストは町のホームページ及び広報おやまを通じて公表します。
 - ・ホームページ：5月初旬、広報おやま：5月号
- (2) 翌年度当初に行う評価についても、評価結果として公表します。

平成29年度 企画総務部長マニフェスト

◎部の紹介（平成29年4月1日現在）

【所属課】 町長戦略課、総務課、税務課
 【職員数】 正職員35人 臨時職員等4人



部長 湯山博一

◎基本方針

小山町を元気にする「金太郎大作戦」第二章及び第4次小山町総合計画後期基本計画の各施策を速やかに推進するために、多岐にわたる事業の進行等について調整を図り、より効率的な資源の活用に努めるとともに、財政状況、職場環境等の向上に努めます。

◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	税制度の見直し	各地区をはじめとする説明会を丁寧に行い、町民の方の理解を得て都市計画税の導入を目指します。	平成30年度に、都市計画税導入が可能となるよう、町民、議会等の同意を得ます。
2	ふるさと納税の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税を取り巻く状況は変化していますが、その中でPRや返礼品を工夫し、ふるさと寄附を確保します。 ・ふるさと納税（企業版）の取り組みを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税（個人版）額 平成29年度目標15億円 （平成28年度実績18億円） ・ふるさと納税（企業版） 平成29年度目標5社 2億円 （平成28年度実績2社 5.1千万円）
3	金太郎計画2020の着実な推進	<ul style="list-style-type: none"> ・町内5地区で策定した「金太郎計画2020」に掲げる事業を実施します。 ・町民との協働を進めるため、「まちづくり活動発表会」の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金太郎計画に基づく事業の実施数 平成29年度目標 各地区3事業以上 （平成28年度実績 各地区2～8事業） ・まちづくり活動発表会の参加者数 平成29年度目標200人 （平成28年度実績150人）
4	健全な財政運営の確立	未来拠点事業や文化財修景復元事業など大規模事業が多い中、財政調整基金の確保など健全で弾力的な財政運営を確保します。	<ul style="list-style-type: none"> ・財政調整基金年度末現在高 6億円以上 ・総合計画推進基金年度末現在高 4億円以上
5	働き方改革	慢性的な時間外勤務や休日出勤などについて現状と課題を調査・分析した上で、健全なワークライフバランスの実現を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業デイの実施 各所属一月あたり3日以上 ・年次有給休暇取得日数 平均9日以上

平成29年度 住民福祉部長マニフェスト

◎部の紹介（平成29年4月1日現在）

【所属課】 住民福祉課、健康増進課、くらし安全課

【職員数】 正職員33人 臨時職員等14人



部長 小野一彦

◎基本方針

町民に安全安心な生活を提供するため、安全安心の基本となる心身の健康を維持するための各種施策を実施すると共に各保険制度の健全運営を維持します。また、交通事故や犯罪の無い町を目指し、警察や関係団体と協力して交通安全活動や防犯活動を行います。

◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	国民健康保険の特定健診の受診率向上	疾病の早期発見と早期治療により重症化を防ぎ、医療費を適正化するため、特定健診受診キャンペーン（啓発、通知、電話）を実施します。	・ 特定健診の受診率 平成29年度目標 60% （平成28年度実績（速報値 47.2%））
2	介護予防施策の充実	・ 高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、ふれあい茶論を開催します。 ・ 地域において認知症の方が穏やかに生活するための見守りのため、認知症サポーター養成講座を開催します。	・ ふれあい茶論の参加者数 平成29年度目標 3,000人 （平成28年度実績 2,625人） ・ 認知症サポーター養成講座受講者 平成29年度目標 200人 （平成28年度実績 247人）
3	お達者度向上プロジェクト事業の推進	高齢者の健康づくりと生活習慣病の予防のため、高齢者の自主運動教室、出張けんこう講座を開催します。	・ 高齢者の自主運動教室実施 平成29年度目標 17教室 （平成28年度実績 16教室） ・ 出張けんこう講座の参加者 平成29年度目標 1,400人 （平成28年度実績 1,412人）
4	健康マイレージ事業の拡大	お達者度を向上させるため、健康マイレージ事業を周知し、ふじのくに健康いきいきカード協力店及び商品協賛事業所を増やします。	・ 健康マイレージポイント達成者 平成29年度目標 400人 （平成28年度実績 377人） ・ ふじのくに健康いきいきカード協力店 平成29年度目標 7店 （平成28年度実績 5店） ・ 賞品協賛事業所 平成29年度目標 15社 （平成28年度実績 14社）
5	小山町民の交通事故死亡事故ゼロ	・ 高齢運転者向け安全運転講習を実施します。 ・ ふれあい茶論等の集まりに出向き、交通安全講話を行います。	・ 小山町内の人身交通事故発生件数 平成29年度目標 90件以下 （平成28年度発生件数 102件） ・ 小山町内の町民の交通事故死亡者数 平成29年度目標 0人 （平成28年度町内事故死者数 3人）

平成29年度 経済建設部長マニフェスト

◎部の紹介（平成29年4月1日現在）

【所属課】 建設課、農林課、商工観光課、都市整備課、未来拠点課、おやま
で暮らそう課、上下水道課
【職員数】 正職員61人 臨時職員等7人



部長 池谷精市

◎基本方針

機構改革により、地方創生実現の原動力として新たな経済建設部となりました。「小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる「産業拠点の整備を中心とした多彩な雇用機会の創出」「居住環境の整備による定住・移住の促進」を官民一体となった取組みにより推進します。

◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	小山町観光振興計画アクションプランの推進	富士山や町内の観光資源を活用した観光交流客数増加の取組みとともに、観光インフラの整備として、情報、交通基盤の整備、広域連携、観光客の受け入れ態勢の充実を関係機関と連携して進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランに掲げる25項目の年度目標値の達成 ・日本版DMO※の設立に向けた準備室の開設 ・観光資源を活用した観光イベントの開催（2本以上）
2	木造住宅耐震化の推進	予想される大規模地震に備えるため、旧耐震基準により建築された木造住宅の耐震診断、耐震補強計画、耐震工事を推進します。	補助制度による申込み件数 <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断 120件 ・耐震補強計画 66件 ・耐震補強工事 60件
3	道路インフラ整備の推進	新東名高速道路建設及び足柄スマートインタチェンジ設置に伴う幹線道路整備と都市計画道路用沢大胡田線の事業進捗を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路大胡田用沢線 町道一色中日向線から国道246号区間の用地買収及び物件補償契約の完了（15件） ・町道3628号線（アクセス道） 用地買収契約の完了（15,007㎡）
4	農地集約化の推進	持続可能な力強い農業を実現するため、未来の設計図となる「人・農地プラン」の作成及び農地中間管理機構を活用した農地集積・集約化を推進します。	担い手が活躍する農業構造の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「人・農地プラン」新規作成 1地区 ・農地中間管理機構活用面積 2ha
5	交通拠点施設の整備	昨年度、事業進捗が図れなかった足柄地区拠点整備事業について、住民の意見を反映した足柄駅舎と支所等の複合施設の整備計画を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・足柄駅交流センター（仮称）基本計画の策定 ・住民説明会の開催

※「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを担う法人

平成29年度 経済建設部長代理マニフェスト

◎部の紹介（平成29年4月1日現在）

【所属課】 建設課、農林課、商工観光課、都市整備課、未来拠点課、おやま
で暮らそう課、上下水道課

【職員数】 正職員61人 臨時職員等7人



部長代理遠藤正樹

◎基本方針

「小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる「産業拠点の整備を中心とした多彩な雇用機会の創出」「居住環境の整備による定住・移住の促進」を官民一体となった取組みにより推進するため、三来拠点事業や子育て若者世代を中心とした移住・定住事業を着実に進めます。

◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	三来拠点事業（小山PA周辺地区）の着実な推進	新東名高速道路の「小山PA周辺地区」に地域防災力を高める観光関連施設及びモータースポーツ関連産業の集積を進めるため、町が事業主体となって、開発を推進します。	進出企業（造成事業協力者）との基本協定締結
2	三来拠点事業（湯船原地区）の着実な推進	三来拠点事業の先進地区である、「湯船原地区」に、「地域資源循環型林業」を中心に、複合的な開発を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・林業エリア 木質バイオマス発電所 整備完了 ・アグリインダストリーエリア 実施設計・換地計画策定 ・上野地区工業団地（ロジスティックターミナル） 進出企業（造成事業協力者）との基本協定締結
3	三来拠点事業（足柄SA周辺地区）の着実な推進	現東名高速道路の「足柄SA周辺地区」への進出企業に協力し、観光複合施設建設を推進します。	「足柄SA周辺地区」（桑木地区）用地買収受託事務完了
4	自己実現型定住促進事業の推進（地方創生推進交付金事業）	子育て世代、若者世代の定住・移住を促進するため、小山町及び近隣市町のママ達や、都内の大学生・若手社会人等をターゲットとしたイベント等の企画・運営を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ママ向けイベント参加者数 50人 ・若者向けイベント参加者数 50人 ・新規創業件数 3件
5	婚活支援事業の活性化	独身の男女に出逢いの場として、イベントの企画・仲介支援を行い、将来的な結婚、町内への定住、出産とつながる婚活支援事業の活性化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活イベント企画・運営 5回 ・カップル成立数 20組

平成29年度 教育次長マニフェスト

◎部の紹介（平成29年4月1日現在）

【所属課】 こども育成課（小学校、中学校、保育園、こども園、幼稚園を含む）、生涯学習課

【職員数】 正職員 76 人 臨時職員等 147 人 県費負担職員（本務者） 122 人



次長 長田忠典

◎基本方針

【気高い富士 金太郎のように思いやる心を持つたくましい人づくり】
豊かな人間性を持ち「困難・問題をきちんと受け止め、泰然と対処できる人」づくりを目指します。

◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度中の（仮称）中央子育て支援センター開設に向け、運営方法等を決めていきます。 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の充実に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> （仮称）中央子育て支援センターの運営方法等の検討及び決定 北郷小学校放課後児童クラブの施設整備 明倫小学校放課後子ども教室の開設準備
2	教員が子どもと向き合える時間の確保	<p>授業及び校務事務等を支援する講師を小中学校に配置するとともに、校務支援システムを導入し、教員の事務負担の軽減を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 左記の取組によって、教員が子ども達と向き合える時間等が増えたのか検証（教員アンケートの実施）
3	キャリア教育及びボランティアの充実	<ul style="list-style-type: none"> 小山高校生の町役場でのインターシップ受け入れを実施し、行政に興味を持ってもらいます。 中学生ボランティア登録数の向上に努め、地域での活動の場を増やします。 	<ul style="list-style-type: none"> 小山高校1年生全員の受け入れ 中学生ボランティア登録率及び活動事業数の増加 登録率 平成29年度目標 60% （平成28年度実績 54.4%） 活動事業数 平成29年度目標 30件 （平成28年度実績 29件）
4	文化財等のPRによる地域への愛着向上	<p>町民の方に、身近な文化財等を知ってもらうために、文化財解説冊子作成委員会を設置し、文化財冊子を作成します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 親しみやすい文化財解説冊子の作成及び配布
5	スポーツ・リクリエーションの推進	<p>パークゴルフ場施設を利用しやすく整備するとともに、町内外に周知を行い、利用者数の増加を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 管理棟の整備及び利用者数の増加 平成29年度目標 8,500人 （平成28年度実績 8,065人）

平成29年度 危機管理監マニフェスト

◎組織の紹介（平成29年4月1日現在）

【所属課】 防災課
 【職員数】 正職員 3人 臨時職員等 1人



危機管理監
岩田 芳和

◎基本方針

予期せぬ災害に備え、「自助・共助・公助」の視点から災害に強いまちづくりを積極的に推進し、町民が安心できる防災の仕組みづくりを目指します。

◎重点施策

No	施策	具体的取組	目 標
1	防災意識の向上	町民一人ひとりが「防災」の意識を持ち、意識の高揚を図るため、防災士連絡会や学校との協働による講演会等を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講演会参加者 平成29年度目標 300人 (平成28年度実績 285人) ・小学校、中学校、高等学校での防災講話 平成29年度目標 5校 (平成28年度実績 5校)
2	富士山噴火避難計画等の見直し	「防災日本一のまちづくり」を進める観点から、実効性のある計画に見直し改善していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・富士山噴火避難計画、地域防災計画、業務継続計画及び水防計画の改訂
3	防災体制の充実	物資、避難場所、要援護者支援など、防災対策の推進を図るため、事業所等との防災協定締結を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災協定締結（累計件数） 平成29年度目標 45件 (平成28年度実績 41件)
4	自主防災組織の充実	自主防災組織（40組織）は「自助・共助」を担う重要な組織であるため、自主防災組織と連携して災害時を想定した訓練などを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時を想定した訓練 平成29年度目標 20組織 (平成28年度実績 16組織) ・地域防災訓練参加者 平成29年度目標 7,300人 (平成28年度実績 7,232人)
5	消防団の体制強化	消防署と連携し事業を推進していくとともに、消防団員の確保に努め、活動時における安全を確保する装備品や資機材の整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の確保（消防団員数の充足率） 平成29年度目標 95% (平成28年度実績 91%)